

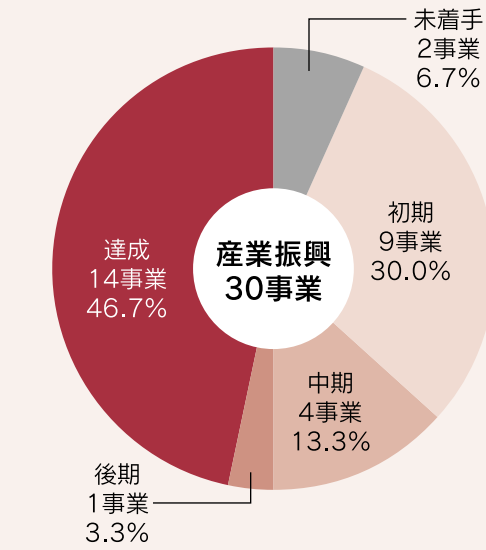
問 糸島市経営企画課  
2022年2020年

産業振興に関する施策を実現するために実施している30事業の進捗具合は、右のグラフのとおりです。今回ご紹介した事業を含め、市長マニフェストを実現化するために進んでいる事業は、75あります。これらの詳しい状況は、市ホームページや情報公開コーナーでお知らせしていますので、ぜひご覧ください。

**約 束 21** 雇用の場の確保、所得の向上をめざし、地場産業の活性化（な）んでも糸島プロジェクト、企業誘致、新産業創出などを積極的に進めます。

**約 束 20** いとしまの資源を生かした体験型観光やグルメ観光などを推進し、観光入込客数「年間500万人」をめざします。

**約 束 19** 「食のまちづくり計画」を策定し、地産地消や食育を推進します。水産業の担い手の支援、九州大学との連携による新たな糸島ブランドの創出などにより、農林水産業の振興を図り、農業元気度福岡県内ナンバー1をめざします。



**約 束 18** 農業用施設整備の支援、魚礁設置や栽培漁業事業などによる「つくる漁業」への転換の支援、農業・

**約 束 17** 九州大学の知力、若い力などを新市のまちづくりに生かす「九大連携交流事業プロジェクト」を積極的に進めるとともに、九州大学と連携して実施中の農業の実証実験事業の実用化により、農業技術の向上、生産性の向上、農業の課題解決などを図ります。

**約 束 16** 入札制度改革（条件付一般競争入札の強化、分離分割発注の推進、総合評価型入札導入の検討）を推進します。

産業振興

産業振興分野の具体的な実施内容(目標を達成した事業)

事業名	事業概要	達成基準(目標)	平成22年度の実施内容 今後の継続予定内容など
農力を育む基本計画事業	「糸島市農力を育む基本計画」、「地産地消推進計画」、「食育推進計画」の策定および施策の展開	糸島市農力を育む基本計画の策定 達成基準の状況(平成22年度末) 策定済	●糸島市農力を育む市民推進会議を設置し、平成23年3月に「糸島市農力を育む基本計画」を策定 →今後、基本計画に基づき施策を展開する
日本一農業研修生を受け入れるまちづくり事業	若者を対象に、交流体験施設を活用して、農業担い手の人材育成	研修生受け入れ数(0人⇒5人) ※平成23以降は8人 達成基準の状況(平成22年度末) 研修生5人を受け入れ	●農業研修生5名を受け入れ、市内農家で研修を実施 →今後も継続して事業を実施し、担い手の確保を図る
国・県補助事業を活用した農業用施設の整備	『活力ある高収益型園芸産地育成事業』、『水田農業担い手機械導入支援事業』、『持続する畜産経営安定対策事業等』の国県事業を活用した先進技術の導入、施設の整備などにより、生産性の向上を図る	農業用施設整備等の件数(30事業⇒36事業) 達成基準の状況(平成22年度末) 42事業を実施	●従来の国県事業活用に加え、平成22年度から新たに国の『経営体育成交付金事業』に取り組み、合計42件の事業を実施 →平成23年度から『持続する畜産経営安定対策事業』が廃止となったが、新たな国の事業や、市の単独事業である『糸島農業活性化事業』により生産性の向上を図る
糸島農業産学官連携推進協議会事業	九州大学農学研究院の教育、研究の場を提供。農業分野の課題解決をめざす	農業分野での九大連携事業の増24事業 達成基準の状況(平成22年度末) 25事業実施	●共同研究、地域活性化、交流事業などで25事業を実施 →今後も継続して事業を実施し、糸島農業の課題解決のために連携事業数を増やす。また、現在共同研究中の事業についても、早期完成をめざす
原材料補助(水路等維持)	地元共同作業に対し、市から原材料を補助	原材料補助地区数20地区以上 達成基準の状況(平成22年度末) 24地区に補助	●6行政区に対してパイプ・生コンを236千円分支給し、18行政区に対して板柵用の木杭と板(304千円分)を支給 →今後も、引き続き地元の協同作業支援で材料支給を行う。予算200万円で20地区以上をめざし、啓発を実施
魚しょく普及事業の推進	糸島漁協が行う『魚しょく普及事業』を推進する ①小中学校による料理教室 ②学校への食材提供 ③カキ養殖網引きなどの体験学習 ④稚魚の放流など	事業回数(イベント実績)8回 達成基準の状況(平成22年度末) 11回開催	●親子料理教室の開催 ●市内小中学校21校に食材提供を実施 ●小中学生職場体験学習(各支所149人)を実施 ●糸島漁協各支所で稚魚の放流を実施 ●九大祭での魚介類の販売 →今後も、今後も継続して事業を実施し、魚しょくの普及を推進する
"なんでも糸島"プロジェクト～経営支援～	商工会等と連携し、経済の地域内循環を高め、既存事業所の利益増加、被雇用者の所得の増加を図る	プレミアム商品券発行、中小企業を応援する補助制度創設 達成基準の状況(平成22年度末) プレミアム商品券発行済補助制度創設済	●平成22年11月、各商工会からプレミアム商品券発行 ●平成22年10月、がんばる中小企業者応援補助金交付開始 →新規事業を含め、今後も引き続き経営支援のための事業を展開する

事業名	事業概要	達成基準(目標)	平成22年度の実施内容 今後の継続予定内容など
分離分割発注の推進	分割発注は、現制度の充実を図る。分離発注は、旧前原市の基準をベースに見直す	分離発注の基準策定 達成基準の状況(平成22年度末) 策定済	●糸島市建設工事発注方針による分離分割の基準を1億円から5,000万円に、1,000万円を500万円に改め、平成23年4月1日から適用するため準備を行った →今後は、改正した糸島市建設工事発注方針に基づき発注する
糸島市学研都市推進計画策定	既存計画を基に、市民意見を反映した学研都市推進の基本方針を策定	計画の策定 事業の実施状況の確認と新規事業の発掘を毎年実施 達成基準の状況(平成22年度末) 策定済 事業の実施状況の確認と新規事業の発掘を実施	●平成22年5月から8回の策定委員会を開催し、パブリックコメント後に計画策定完了 →毎年2回、事業の進捗状況と新規事業の有無を確認する
九州大学連携研究助成事業	市内を研究フィールドとし、かつ地域課題の解決などに資する研究を行う九州大学の教員などに、その経費を助成	九州大学連携研究助成事業(最低1項目) 達成基準の状況(平成22年度末) 6項目採択	●平成22年9月に6件を採択した →平成23年度も引き続き、予算の範囲内で事業を実施する
異都ジャズフェスティバル	九州大学大学院芸術工学府の実習の一環。神楽、中国・韓国の伝統芸能、ジャズとの競演を新市誕生記念公演として開催	事業実施 達成基準の状況(平成22年度末) 実施完了	●九州大学大学院芸術工学府の協力を得て、新市誕生記念式典を『異都ジャズフェスティバル』と併せて開催し、非常に好評であった →新しいイベントの運営スタイルとして、今後の企画・運営の参考とする
九州大学連携ラーメンプロジェクト	九州大学と連携して、市独自のラーメンを開発	九州大学、JA、生産者などによる研究会の実施 達成基準の状況(平成22年度末) 九州大学、JA、生産者などによる研究会(プロジェクト会議)実施済	●平成22年7月からプロジェクト会議で協議を重ね、平成23年3月に試作品が完成 →今後、開発した試作品の商品化に向けて事業を展開する
ICT(情報通信技術)による効率的な農作業の実証実験	ICTを活用した農業における作業工程の実証実験	実証実験の着手 達成基準の状況(平成22年度末) 着手済	●九州大学連携研究助成事業を活用して、トマト農家1件で実証実験を実施 →今後も、九州大学連携事業として実証実験を継続する
九州大学関係者の定住促進事業	九州大学の教職員や学生の市内への定住化を促進して地域活性化を図る	九州大学新入生応援フェアを開催し、市の情報を九大内で発信 達成基準の状況(平成22年度末) 実施済	●商工会、宅建業者と新入生応援フェアを実施 ●学生、教職員等の定住化を促進するため、伊都キャンパス内に、情報コーナーとしてマガジンラック3台を設置 →今後も継続して事業を実施する